

## 9月1日は「防災の日」です

毎年9月1日は「防災の日」として、日本全国で防災意識を高めるための活動が行われています。この日は、1923年に発生した関東大震災をきっかけに制定されました。関東大震災は、大正関東地震（マグニチュード7.9）により発生した建物の倒壊や火災、津波などを含む一連の災害で、東京や横浜を中心に甚大な被害をもたらし、死者・行方不明者の数は10万5千人余にも上りました。この未曾有の災害を教訓に、防災の日が設けられ、災害への備えの重要性が再認識されています。

防災の日は、地震だけでなく、その他の自然災害への備えも呼びかけています。特に9月は台風シーズンであり、暴風や大雨による土砂災害・洪水害が懸念されます。また、秋は行楽シーズンでもあり、登山や観光で火山周辺を訪れる機会も増えることから、火山災害への注意も必要です。気象情報や噴火警戒レベルを事前に確認し、安全な行動を心がけましょう。

具体的な対策としては、避難経路の確認や非常持ち出し袋の準備、家具や家屋の耐震補強などが挙げられます。また、地域の防災訓練に参加し、実際の災害時にどのように行動すべきかを学ぶことも大切です。防災の日を機に、家族や地域で防災について話し合い、自然災害全般への備えを見直す良い機会としましょう。

問い合わせ先 網走地方気象台  
(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



首相官邸 防災の手引きのページ

